

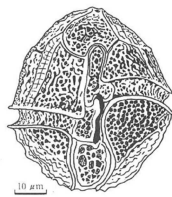
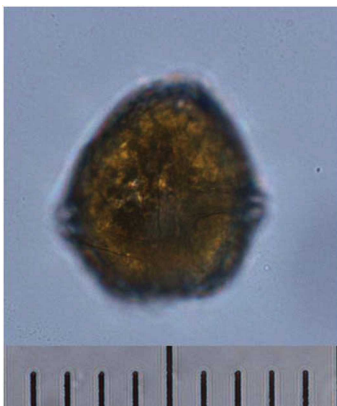
大滝ダム貯水池内における 赤茶褐色の湖面の分析結果

○10月 1日、北塩谷橋から人知にかけて断続的に赤茶褐色の湖面の変色が確認されました。分析の結果、渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう ペリジニウム注1) であることが特定されました。(別紙1に採水箇所、プランクトン同定試験結果を示します)(別紙2に赤茶褐色の湖面の変色箇所)

○渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう ペリジニウムは植物プランクトン的一种であり、各地の湖沼や池に広く分布し、冷水期に出現して赤潮を形成することもあります。おおよそ、表層水温が15℃前後の時期より出現しはじめ、24℃以上になると消滅します。毒性やカビ臭の報告はなく、人体に影響はありません。

注1：原因種は渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう *Peridinium penardii*でした。

*Peridinium penardii*は、2本の鞭毛で遊泳し、集積して赤潮現象を引き起こすことがある。ただし遊泳力は強くないので、水の流れや風などによって拡散すると、赤潮状態は解消される。細胞の形態は、背腹に扁平な球形ないし卵形である。鎧板(殻)はうすく、表面には小孔や点模様が散在している。

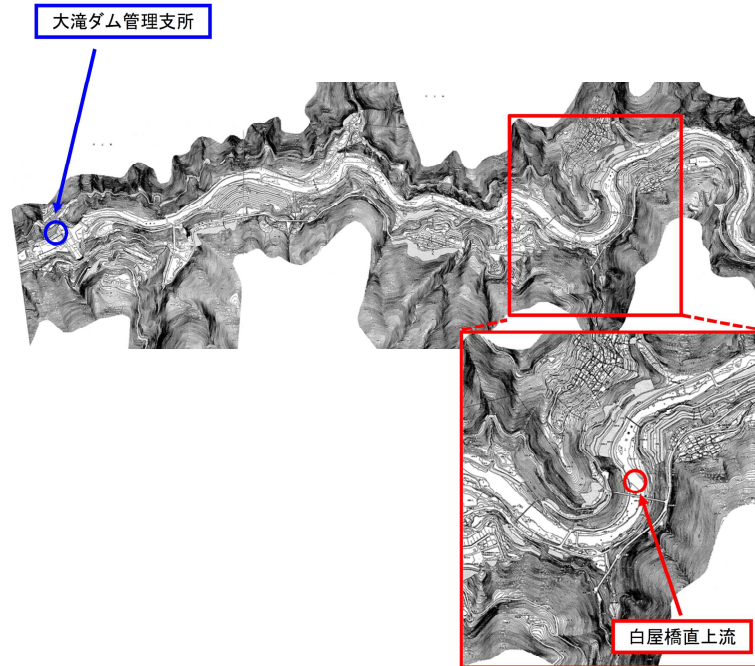


うずべんもうそうこう
渦鞭毛藻綱 ペリジニウム

※ 1目盛=10μm

別紙 1

○採水箇所



○プランクトン同定試験結果

堰名		大滝ダム		調査年(西暦) 2015年	
堰コード					
1 調査コード					
2 調査地点				白屋橋直上流	
3 採水位置				表層	
4 全水深		m		-	
5 調査月				10	
6 調査日				1	
7 調査開始時刻:時24時間制				-	
8 調査開始時刻:分				-	
9 天候				-	
10 気温		℃		-	
18 採水水深		m		-	
20 透視度(河川)		cm		-	
21 外観				-	
22 臭気(冷時)				-	
綱名	科名	種名(学名)			
クリプト藻	Cryptomonadaceae	<i>Cryptomonas</i> sp.			+
		CRYPTOPHYCEAE			+
渦鞭毛藻	Peridiniaceae	<i>Peridinium bipes</i>			+
		<i>Peridinium</i> sp.			+
珪藻	Biddulphiaceae	<i>Attheya zachariasii</i>			+
	Nitzschiaceae	<i>Nitzschia</i> sp.			+
緑藻	Chlamydomonadaceae	<i>Chlamydomonas</i> sp.			+
	Volvocaceae	<i>Eudorina</i> sp.			+

凡例 : + 少ない、 ++ 多い、 +++ 非常に多い

別紙2

○赤茶褐色の湖面変色箇所（10月2日）

